

変わることはない岩からの水

ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国
1961年7月23日朝

1 私たちは今朝、主なる神の御臨在を感謝しています。主なる神の前で「耳を傾け、敬意を払う」べきであり、主が私たちに何か言いたいことがあるというメッセージを私たちに与えることによって、朝早めの礼拝を始めます。私は彼が約束したことをなされることを確信しています。彼はいつも御言葉を守ります。そして、私たちは今朝、一緒に集まり、生きていて、永遠のこちら側に集まり、再び主を崇拜し、一緒に集まり、主から聞くことができることに感謝しています。それが私たちが集まる理由です、まさにこの目的のためなのです。

2 さて、ある夢を持っていたので、今日、思いがけずネヴィル兄弟に嵐のように襲い掛かってしまいました。それは…私は夢を信じています。私は神が夢によって人々を扱っていると信じています。そして、私は前夜、丘の中腹、特定の丘の中腹に沿って、食事をする場所、つまり夕食に行くという非常に珍しい夢を見ました。そして、私がある場所に近づくと、彼らが音楽を演奏し、オーケストラがバイオリンで音楽を演奏し、彼らが食事をしている間人々を楽しませていることに気づきました。そして、それについて私が気に入らないことがあったので、私はそのことをよけて通りました。そして丘を登って来る誰かに会いました。そして私が見たところ、多くの人々が丘を登ってこの食事の場所に来ていました。しかし、私はちょっと彼らから離れて、右に、または、左に向きを変えました。

3 そして、どういうわけか、谷を下って、私はタバナクルを見ることができました。私はある人の声が言うのを聞きました、「ある特定の交差点でブラナム兄弟に会います。彼はそこの丘を下って来ています。そして、彼にこのようなことを言ってください。」そして、私はこの交差点にたどり着くために急いで行きました。

そして、その人が現れたとき、それは彼の茶色のスーツを着ているネビル兄弟でした、彼が今朝そこに座っているのと同じように見えました。そして彼は、「ブラナム兄弟、もしあなたが街にいるつもりなら」と言いました、「ハンク兄弟が…だから、降りてくるのは良いことだと思います…」さて、私が知っている唯一のハンク兄弟はヘンリー・カールソン兄弟です。私たちは彼をハンクと呼びます。「彼は、あなたが町の周りに数日間滞在するつもりなら、あなたがタバナクルをこれ以上訪問しなかったら奇妙だと思うかもしれない」と言った。目が覚めた。

そして、その時、私はちょっと変な感じがしました。ネビル兄弟に今朝の教会のために何か特別なことがあるかどうか尋ねるまで、私はその週のその時間に突っ込みたくありませんでした。それで彼はいつものように恵み深く「降りてきてください」と言いました。だから私たちはただやって来たのです。私は昨日の午後遅くに彼に電話し、今朝、私たちの誰も予期することなく来ました。

4 さて、まず、私にとっては、いくつかのことを説明するのは良いことだと信じています。私は、おそらく、多くの人にとって非常に奇妙な人です。そして私自身にとってもちょっと変なのです。なぜなら、私は聖霊の導きができるだけ近づこうとしているからです。そして、それは私たちを奇妙な存在にします。分かりますか？私たちは自分たちがしていることをします—私たちは本当に落ち着いて、時々「なぜ私はそのようなことをしたのか？どのようにそんなことをしたの？」と思うのです。そしてその時、あなたはあなたがすべきではなかったことを正確にしたと思うかもしれませんが、しかし、あなたがただ辛抱強く、信仰を持ち、神があなたにそれをするように導いてくださったと確信しているなら、それが正確にうまくいくことがわかるでしょう。分かりますか？そして、何度もそれを見つけます。そして、私はネビル兄弟がそれを何度も見つけたことを知っています。そして、指導者や霊的な人々はそれを理解しています。

私の人生で何回かありました…率直に言って、私はまだ少年だったので、ジェファソンビルに住むというまさにその導きを感じたことはありませんでした。私がかここに住もうとするのは、常に軟膏の中に飛んできたハエのような感じでした。そもそも、気候が私に悲惨なほど合わないのです。もう一つ、霊が鬱のような状態にあるようなのです。

5 戻ってここのどこかを見ると、洪水の際に破壊されなかった場合、私が最初にミニストリーを呼びかけたその旨の手紙があり、私は去り始めていました。そしてジョージ・ダーク兄弟と私は…

そして、グラハム・スネリング兄弟の母親、ニューアルバニーで給油所を運営しているホーキンス兄弟、そして多くの人々が、ここの小さな祈りの集会の場所の外で私に会いました。そして言わせてもらうのであれば、もし私がかここに留まるならばその食事をする彼らの子供たちに許可をしてタバナクルを建てて、彼らが場所から場所に来る必要がなくなるのです。

6 一人の赤ちゃんを手に、もう一人の赤ちゃんが腕に抱いている小さな母親が、子供たちが滞在して礼

拝できる場所を作るために、テーブルで子供たちに許可を与えているのを聞いたとき、私が立つためには少し小さかったですが建物を建ててそこに留まり礼拝するというのです。それでジョージ兄弟と私は一緒になって、そこに留まってタバナクルを建てることをきめました。

そして、そのタバナクルが建てられたとき、それはいつも一見…私がそのタバナクルを捧げた朝、聖霊が私に「これはあなたのタバナクルではない」と言われたとき、その礎石に書かれている幻が来ました。分かりますか？そして、私はタバナクルがどこにあるか尋ねました、そして彼は私を真っ青な空の下に置きました。そして、ご存知のように、彼は「伝道師の業をしなさい」などと言われました。本にも書かれています。

7 それらすべてがまとめられていました。そしてある日、私がウッド兄弟が今住んでいるところまで庭を刈っていて、私の義母がその時にそこに住んでいました。私は義母のためにこの小さな場所を建てた後部の階段、少し古いコンクリートの階段に着きました。そして、彼女はその時、教会の管理人のようなもので、世話をしていました。そして、誰もが話すことができるのと同じくらいはつきりと、声が私に話しました、「あなたがここにいる限り、私はあなたを祝福することはできません。あなたは自分自身をあなたの人々やこの場所から切り離さなければなりません。」ええと、私は…それはちょうど約1週間以上私をバラバラに引き裂きました。

8 常に、何か私に警告しました、「離れてください。離れてください。西側に移動せよ。西に進み続けなさい。」さて、私は…それはいつも私を悩ませました。そして毎回のように見えます…

さて、私は今週、9月から子供たちを学校に通わせるために、この冬にそこにある場所を借りる予定だったツーソンに飛行機で行くことをはつきりと心に留めていました。私にはその場所がありました。そこには私に与える場所さえあります。しかし、何かがあります…そして—そして私がいなくなったら…

9 もう一つ言いたいことがあります。私たちがこの家をここに建てる直前でしたが、現在の牧師館、私はそこに建てたくありませんでした。私の妻の母は年をとっていました。そして彼女はそれについてさえ泣きました。彼女は言った、「私は彼女が年をとっていることを知っているのだから、ここにママを残すことはできません、そして彼女は世話をされないかもしれません。」まあ、私はそれを理解しました。わかりました。それは彼女の母親であり、彼女がこれまでに持っていた、またはこれから持つ唯一の母親なのです。だから私はそれを理解しました。ですから私は主に祈りました。私は「主よ、私はその場所が好きではないので」と言いました、「私を満足させます。私はどこでもあなたが私に行かせたいところどこからでも行きます。しかし、私は妻を悲しませて、彼女をここから連れ去って、彼女が誰も知らない奇妙な国に連れて行きたくありません。そして、とにかく私はいつもどこかに行っています。彼女とここにいることに満足させてください。」

そして今、彼女の母親が連れて行かれ、彼女が栄光に行ったとき、ここに再び移動するべきだという衝動が来ているのです。どうしたらいいかわかりません。

10 そして先日、兄弟たちがこの教義をその周りで始めた時、私は最後にここにいたときに説教壇から立ち、それが続く限りフィールドにはいないとあなたに言いました。それで、兄弟たちはそれをすべて恵み深くただしてくれました。それはすべて片付けられました。24時間以内に、それはすべて終わりました。

さて、それは私に再びフィールドに行く扉が開かれたのです。どうしたらいいかわかりません。どちらを向いたらいいのかわかりません。私は主に幻を求めました。私は彼に何をすべきか教えてくれるように頼みました。しかし、彼は私に決めさせてくれます。

11 さて、昨夜、私がすべての子供たち、妻、そしてすべてを家から連れ去ったとき、私は主なる神に献身しました。そして私は主なる神に言いました、「あなたが私の行く道で私を祝福してくれるなら、私はあなたに仕えます。しかし、あなたは私にどこに行くべきか、どのように行くべきか、そして何をすべきかを示して下さいなければなりません。」それで私は主に献身しました。ミニストリーとすべてと共に、私はそれを主に託しました。そして私は言いました、「あなたが開くところはどこでも、あなたがすることは何でも、私はそのように歩きます。あなたが道を開くまで、私はあなたが道を開くまで私と同じように続けます。」そして、私は彼に、私がだまされないようにはつきりさせるように頼みました。なぜなら、私たちは何かが起こるべき岐路に立っていると本当に信じているからです。

私はそれが今朝ここでネビル兄弟によって預言されたのを聞いた、または私が知っているところにそれを与えました—それは彼が言及していた予言でした。ですから、今、私はあなた方すべてのために祈りました、そして今、あなた方全員が私のために祈る必要があります。聖霊が私が行くべき場所、私がすべきことを正確に導くので、私は間違いを犯さないように。

12 多くの場合、人々は預言的な賜物、神がただ「ここであなたを迎えに行き、あなたをここに置きます」と言っていると考えています。さて、あなたはここに行くだけです。」そして、彼はあなたにそれらすべてのことは言わないのです。もし彼がそうしたとしたら、あなたはどのような克服した信仰を持っていることになりましたか？分かりますか？ほら、あなた、彼はあなたを他の誰よりも一人で立たせてくれています。分かりますか？あなた方全員が私のところに来て、特定のことを求めることができます、そして彼はまだ失敗したことはありませんが、彼があなたに答えを与えてくれます。そうです。ええ。しかし、私は彼に自分のために物事を求めることができます、そして多くの場合、彼は私を一人で見させてくださり、ただ私を先に進めてそれに歩かせてくださるのです

私は今、自分で解決しなければならないことがあり、決断を下さなければなりません。そして、これはとても重要なことです。彼が私に話しかけていると確信するまで、私が正確にそれを成し遂げることができないのです。そして私—私は…彼は私に幻を与えません。彼は私を放っておいてくれます。だから私は今朝のように孤児として置かれているのです。私—どちらを向いたらいいのかわかりません。だから私はそれを主に託しました。

13 私—その時、私はここタバナクルに戻って、道に沿って何かが起こるまでネビル兄弟を助けたいという夢を見ていたように感じました…だから私は一緒に行きます。

少し前にネビル兄弟に「教会はどのように成長していますか」と尋ねました。そして彼は「いいですよ」と言いました。

ですから、あなたの中にはまだ霊的な賜物や物事があり、それは機能している、私たちがちょっと前に聞いたのですが、予言の賜物、異言で語る事そしてその異言があると聞いています。そして、それらのことは教会の徳を高め、大いに

14 しかし、私は、多分今夜、もしネビル兄弟が…聖霊が私たちを別の何かに導いてくれないのなら、今夜私は…皆さんが、今朝出発する前に、教会が何を考えているかを知るために、質問を書いてここに置いてください。いくつかの質問を心に留めておいてください。それは牧師が人々の心にあるものを見つける方法についてです。そして、あなた方一人一人で質問がある方は、それを書いて、ここに置いてください。今朝書くための紙がないならば、今晚早めに書いて下さい。ですから、私は彼らを見て、聖書的にあなたに答えるために、できるだけ多くの時間を割きたいと思っています。

15 そして、もし主の御心ならば、それが神の御心であるなら、私はここで少し前に、作っておいた文書、黙示録の最後の7つの封印についてお話ししたいと思います。さて、もし私たちが…黙示録の第6章から第19章まで、これらの封印を通過するのにかかるため、今年はそれらの封印を完全に通過することはできませんでした。しかし、最初の3つか4つは一晩で答えられると思います。それぞれの封印は夜なのです。

16 さて、もし私たちが理解していれば、教会が栄光に取り上げられたその黙示録のどこで止まったかを見ることにしましょう。それから、その残りは教会との関係ではなく、ユダヤ人とのことなのです。それはユダヤ人の国を扱っています。ですから、私たちは教会の携挙戻らなければならないのです、そして、…私たちはここで、異邦人教会の封印と時代の間になんか起こっているかを見ていきます。教会はなくなっています。そしてイスラエルの国とともに、それは後退し、イスラエルを彼らと一緒にやめた時から現代に連れて行きます。そして来たべき救世主、彼らが救世主を受け取る時にと言うことです。

さて、わかりましたか？教会は連れて行かれているのです。神は最初に教会を扱いました、教会時代。私たちはそれを見ていました。それから教会は栄光の内に連れて行かれているのです。それから聖霊は戻ってイスラエルを国家として得ることになっています。そして、子羊の婚宴が続いている間、それをここまで下げて、そしてその時の終わりに彼らを再び呼び戻します。黒板を持って、時が来たら引き出して教えることができるようにします。それから主は花嫁とと共に戻り、イスラエルは彼女を見るのです。そしてその時は何という時となるでしょうか。

17 さて、これを正しく結び付ける前に、神学者、時代を超えて多くの教師、キリスト教会の人々、そしてこれを聞きに来る人々、にはつまずきとなる素晴らしい教訓があります。ダニエルの70週。私たちは…花嫁とイスラエルをダニエルの70週間と結びつけるまで、黙示録でこれ以上先に進むことはできません。そして多分、御心ならば、そしてもし、神が将来私に話しかけるべきなら、これらの70週間のいくつかについて話すために…あるいは、70週間ではなく、最後の7つの封印についてになります。それから次の日曜日、私はダニエルの70週間、次の日曜日、主の御心ならばそれを話す予定にしています。そして、それは、もし彼が私たちを

導かれるならば、他の人たちから始めるための根拠を開くためになるでしょう。ですから、我々はそれらについて調べて行きましょう。

18 ネビル兄弟と私はこれと一緒に取り組み、人々の益のためにできる限りのことをしています。

さて、毎回戻って、私たちは病人のために祈ります。私たちはいつもそれを喜んでしています。そして、もし人々が病気なら、私はおそらく彼らのために祈るために毎回の会合でそれをするでしょう。

私はこれ以上の識別力を持ちたくありません。分かりますか？さて、それがここで起こった事だったので。私は試しました。そして、私は間違ったことをしたことを知っています。しかし、私は常に神の近くに住むように努めてきました。それがこれらのビジョンがどのように起こり、どのように起こるかです。人々でさえ物を失い、私を呼び、主に祈りに行き、それがどこにあるかを尋ねるでしょう。エッサイがラバを失ったように、男の子たちは預言者を見つけるために降りて来て、ラバがどこで家に戻ったかなどを彼らに話しました。それは完全に大丈夫です。しかし、それは非常に多くのことを得るので、非常に多くの人々が…このような地域だけではありません。それは世界中にあります。分かりますか？だから、それはただ得て、私をととも引き裂き続け、そしてそれがその場所に到達するまで、あなたは常にその場所に居てくれる…

19 そして、それが兄弟たちに教義を始めさせた理由であり、私は転生した主イエス・キリストでした。そして、それがミニストリーをすべてバラバラにし、キリストとすべてに非難をもたらすことを私たちは知っています。分かりますか？だから、それが神のものではないことを彼らに知らせるために、すぐにそれを止めるために私が彼らに大きな揺れを与えなければならなかった理由です。それは悪魔のものでした。分かりますか？そして、彼らは良い人です。そして、それはそれらの人々が神の御霊から新たに生まれたことを示しました。なぜなら、彼らが聖書によって真理を見たとき、まさに即座に彼らは神に戻ったからです。つまり、それはサタンが人々と共に何かをしようとしていることを示していました。彼らは皆敬虔なクリスチャンの人々でした。

20 そして、それは彼らの多くに私に「ブラナム兄弟、私たちは今まで以上にあなたに自信を得た」と言わせました。

なぜなら、神が私に与えてくれた賜物で何ができるか、私はそれで何ができたでしょうか？私の足元に国、または人々を投げだしたのでした。私たちが国家と呼んでいるのは、ここにある「コスモス」ではありません。大砲の餌などでもありません。本当の信者であるクリスチャンを意味します。それが…のクリームです。私たちは国について話し、生まれ変わった人々について説教します。それが私たちが国について話していることです。ここにいる全員だけでなく、それは私たちが住んでいる世界は穢れた糞土のようなものです。それはただーそれは後退している地球のほこりなのです。私は生まれ変わったクリスチャン、本当のクリスチャンである人々について話しているのです。

21 私は男が何かについて再び私に飛びつくのを待っています。少し前に誰かが私のところに来て、「キリストが唾を吐きながら地面に唾を吐き、ケーキを作って誰かの目に塗るといふ考えそのもの」と言いました。言った、「彼の口から唾を吐き出すことで、彼が唾を吐くのはどれほど穢く汚れたことでしたか。土に唾を吐き、泥のケーキを作り、それを人の目の上に置くのは、なんと不衛生だったのでしょうか。」私は「でも彼は目が見えるようになって戻ってきました」と言いました。ほら、それだけです。

そして、その同じ男…彼らは私の場所、プールのそばにヌーディストキャンプを開いた。そして、その男は彼の子供たち全員がそこに行ってそのプールで泳ぐためのチケットを持っています。そして彼と彼の妻も行きます。そのプールで…すみません、姉妹たち。しかし、そこで女性が泳いでいる場所では、毎日約100人か200人です。女性、そのすべての汚物などなど、そして今日の女性、そしてその水で洗い流し、その汚物と汚れを口に入れ、それを飲み込んで吐き出します。私は彼に私に飛び乗って欲しいだけです、ほら。

彼らは、「もしキリストが今日生きていたら、その不衛生な事柄のために彼を逮捕したであろう」と言いました。

それはどうですか？きっと私の言っていることを理解されていますね。彼らはそのプールに直接行き、それらの多くは病気、梅毒、性腺炎、そして他のすべてのものを持っています。そして、あなたはそれをあなたの口を通して吐き出し、そのようなすべてのものを、そしてそのようにそこで洗い流しています…もちろん、それは衛生的ですか？

22 それで、ああ、何とも、私たちが生きているこの時代、兄弟、姉妹、それが主の来臨の時の為なのです。私一私は…教会には一つの希望があります：それは主の来臨なのです。

まあ、私はそれらのことを止めることはできません。必要はありません。聖書は彼らがここにいるだろうと予測していました。彼らを止めることは出来ません。しかし、私は自分の声が天国で記録されていて、それに反対していることを望んでいます。裁きの時が来たとき、私はそれに反対しました。

私は今でもこの聖書が神の言葉であると信じています。そして、それとは反対に、世界にはそれを止めることができるものは他にありません。しかし、この聖書はここにあり、これは真理です。これが神の言葉です。それでは今、我々の帆をひいて、しばらく休息の場である静かで平安な海岸にしばらく停泊しましょう。そして、私たちは明日どこかに出航することができますが、今すぐ錨を下ろして、天の父が御言葉を通して私たちに語られるように、その声に耳を傾けましょう。今日、私たちは信頼しています。

23 そして今夜、今、あなたは持っているどんな小さな質問でも直されます…さて、誰かに害を及ぼすようなものではありません。あなたがそれをするなら、それは…そもそもそれには答えません。分かりますか？しかし、あなた、何か別の人はこう言います、「さて、今、私が特定のことをするなら、神は私たちがこれをすべきだと言っているのですか？」または、あなたが知っている、あなたの心にある小さな質問。または、「ブラナム兄弟、私たちには賜物があるのです。また、私たちはそれらをこのように、またはそのように動かすべきなのですか？それとも、私たちは何をすべきでしょうか？」私が聖書の中であなたに答えることができる何か。分かりますか？少し何か書いてください、嬉しいです。そして、もし何もないなら、私はある種の主題を取り上げて、今夜あなたに説教します、御心ならばです。これは日曜日です、そして私は…

24 先週の日曜日、私はコーブル兄弟のところに行き始めました。そして、この教会の鐘が鳴るのを聞いて、庭を行ったり来たりしました。我慢できませんでした。それがすべてでした。私はあなたの言うことを聞いたので、私—私—私はただ降りて来なければなりませんでした。

さて、今、頭を下げて、私たちが創られた方に話しかけ、それから祈りの言葉を述べましょう。誰か特別なリクエストがありますか？手を挙げて、「私は…」とってください。ただそれを知らせてください。神はあなたの心に何があるかを知っています。さて、あなたの心にあるリクエストを留めておいてください。

25 あなたの口の言葉によって、あなたの心の考えによって天と地を創造された最も聖なる神。私たちは、あなたが私たちのためにしてくださったすべてのことに感謝するために、私たちの主イエス・キリストを通してあなたのご臨在の中に来ています。そして、主よ、今朝、私たちがどこに立っているか、今朝の私たちの立場、時間の歴史、そしてこれからの未来を知ることができて、あなたにとっても感謝しています。今日、神の恵みによって、私たちはカルバリーでの血潮で洗われたこと、神が今日来るべきなら神に会うために心を信じて準備ができていることを知っています。「それでも、主イエスよ、来なさい」と言わなければなりません。

そして、罪の影響下で世界がよろめくように見えるまで、罪が山積みになっているのが見えます。どのようにその飲酒とギャンブル、そして思いやり、そして裸性、そして神よ、人々の汚物、汚れ、そして泥だらけ、そしてもし彼らがただ気づくことができたなら…主よ、そのような小さな古くて不敬虔な服を着て通りに出て行く人々は、彼らが虫とほごりに他ならないことに気づいていますか、おそらく別の週に虫がその体を食べることになるでしょう。彼らはとても栄光の内にいるのですか？彼らは、潰瘍虫がそれを食べ尽くし、彼らの魂が神なしで、キリストなしで、希望もなく、深い絶望に沈み、神の到来で単に全滅するために永遠に向こうにいることを理解していますか？神よ、私たちに警告の声を与えてください。私たちはすべての魂に彼らが近づいているというこの危険について警告するかもしれません。

26 今日私たちと一緒にいて、ソロモンが教会でかつて言ったように、私たちは賢明な建設者であり、私たちはこの集会の羊飼いになるだろうという知恵の言葉を私たちに与えてください。そして、主よ、私たちが言う言葉を探るとき、それがそうなることを祈ります。彼らは今朝ここでとても必要とされている心をとらえる傑作になるでしょう。

今日、私たちは見られるためだけにこの暑い屋根の下に集まったわけではありませんが、私たちはあなたを愛し、あなたから聞くことを望んでいるのでここに来ました。あなたは私たちが愛する私たちの恋人であり、私たちはあなたからの言葉を聞きたいと思っています。すでに聞かせていただいたことに感謝しています。それは私たちと長くどまるでしょう。さて、私たちはあなたをさらに待っているのです、今日あなたが私たちのために持っている部分を私たちに与えてください。私たちはそれをイエスの御名によって、そして彼のために尋ねます。アーメン。

27 さて、それは…[姉妹が別の異言で語ります。兄弟が解釈を与える—編集]

私たちはこれらの御霊からの高揚に感謝しています。彼らは私たちに、おそらく聖霊が今日私たちに話

しかけるであろう言葉を見るように警告します。そして、私たちは彼が私たちのために何を用意しているかだけを知りませんが、彼がもたらす何かがあるに違いないことを私たちは知っています。たぶん、彼がそこを通してそれを話すだろうという質問があなたの心にあるでしょう。彼は今朝のメッセージを通してそれを話すかもしれません。彼は今夜の礼拝でそれを話すかもしれません。彼は、今日のどこかで、誰かにみことばをキャッチするように警告しようとしています。

28 さて、書かれた言葉に目を向けるために、日曜学校のレッスンのために、出エジプト記に目を通しましょう。

バプテスマの礼拝はありますか?[ネビル兄弟が、「いいえ、今夜の6時までではありません」と言います。—編集]いいえ。今日の午後6時にバプテスマの礼拝。

29 出エジプト記の第17章に行きましょう。まずは出エジプト記の第17章の5節と6節から始めましょう。

主はモーセに言われた、「あなたは民の前に進み行き、イスラエルの長老たちを伴い、あなたがナイル川を打った、つえを手にとって行きなさい。

見よ、わたしはホレブの岩の上であなたの前に立つであろう。あなたは岩を打ちなさい。水がそれから出て、民はそれを飲むことができる」。モーセはイスラエルの長老たちの目の前で、そのように行った。

さて、これを小さな日曜学校のテキストと呼ぶなら、これを今朝のレッスンの主題として取り上げたいと思います。「岩から絶えることのないの水」。

30 私たちはイスラエルが常に教会の歴史的な例であることを知っています。なぜなら、イスラエルはエジプトから出るまでは神の民であり、それから彼らは他の世界から離れていたので神の教会だったからです。

そして、私たちが他の世界から離れると、私たちは教会になります。しかし、私たちが他の世界と絡み合っている限り、私たちは教会にいません。今、私はそれが本当に深く行き、その場所をつかむと信じています。ほら、私たちは世から離れるまで教会ではありません。自分自身を切り離し、汚れた人々の中から出てきて、彼らに対処せず、彼らの罪に加担しないでください。不信者とくびきを共にするのではなく、世の中のものから自分を切り離してください。

そしてイスラエルがエジプトにいたとき、彼らは神の民でした。それから彼らが呼び出されたとき、または脱出が出てきたとき、彼らは教会と呼ばれました。それは彼らが他の世界から離れたからです。

31 そして、まさに「教会」という言葉は、「呼び出された」、出立/脱出(出エジプト)、「出て来る」という意味です。私たち一人一人は、クリスチャンとして、私たちの生活の中から脱出してきました。私たちは、関係者たちの中から呼び出され、かつて交わりを持っていた人々の中から呼び出され、別の人々になり、別の方法で行動し、別の方法で話している別の人々と一緒に歩く時間がありました。それは私たちの人生からの脱出でした。

神が彼らを召喚したときにイスラエルが私たちに与えた非常に素晴らしい例。彼らは出エジプトをして脱出し、世界の人々の中から出てきて、神に向け別の民族、独特な人々となりました。彼らは憐れみの席の影の下を歩きました。彼らは偉大な火の柱のそばで生き、歩きました。そして神は彼らをエジプトから彼が約束された土地に連れて来られました。

32 そして、この脱出/出立において、彼らは霊的な指導者、ある指導者つまり、モーセ、偉大な油そそがれた預言者、偉大な人を与えられました。彼は敬虔な人でした。彼は敬虔な人として生まれました。その時以前でさえ、神は彼を母親から呼ばれました。神は、この脱出を人々にもたらすために、その世代のリーダーとなるように、世が設立される前に彼を定められました。

33 ここでしばらく前に、私はここタバナクルの小さな子供たちに話し、彼らのために少し説教をし、ヨケベド、彼女がどのように祈ったか、彼女とモーセの父であるアムラムに、人々を届けることについての事です。そしてアムラムは、立っている神、または天使が北を向いているという幻を見て、何が起こるかを彼に話しました。それから小さなモーセが生まれました。そして彼らは王の戒めや脅威を恐れませんでした。彼らは神がモーセに彼の手を置いておられたことを知っていました、そしてそれは解決しました。そうです。王が何を言っても、政界が何を言っても、他が何を言っても、彼らは神がモーセに手を置いていることを知っていました。それで、彼らはワニの真っ只中に彼を自由にすることを恐れませんでした。彼らは皆、ヘブライ人の小さな子供

たちにただ太っていたとき、そこで彼らはワニに食べさせていました。それでも、モーセは小さな箱舟に入れられ、ワニの間に送り出されていました。彼らは何も恐れなかったからです。彼らは神がモーセに手を置いていることを知っていました。

34 さて、今もし私たちが同じことを知ることができれば、私たちの偉大な指導者、聖霊、神が彼を送ってくださったこと、そして彼が私たちの指導者であることを。そして、世界が何を言おうと、彼らがどれほどあなたを笑い、あなたをからかっても、私たちは我々の指導者に従います。神は私たちの指導者となるために聖霊を遣わされました。分かりますか？「しばらくすると、世界は私をまもなく見なくなります。しかし、あなたがたはわたしを見るであろう。わたしはあなたと共に、あなたの中にさえ、世の終わりまでいるからである。」ですから、私たちの偉大な指導者、聖霊と一緒にいます。今、私たちはこの指導者に従い、彼が言うように行動しなければならないのです。そして、この指導者は私たちを道から連れ出すことは決してありません。彼は私たちを常に聖書の道にとどめておられるのです。しかし、彼は何かのために一方の側に行くことは決してなく、何かのためにこちら側に行くことは決してないでしょう。彼は聖書の道にまっすぐとどまります。

35 そしてモーセには、イスラエルを連れて、紅海を渡って、ヨルダンを渡って、約束の地に、荒野を抜けて行くというコースがありました。モーセがラインから外れたのではありませんでした。それは神がラインから外れたことではありませんでした。問題を引き起こしたのはラインから外れた人々でした。では、これらのことを考えてみましょう。(ごめんなさい)

モーゼ、この油そそがれた指導者…終に、彼がしるしと奇跡によって人々に示したとき、神だけができることを…彼はこれらのしるしと奇跡をイスラエルの長老たちの前で、そしてイスラエルの前で、このモーセが彼らをこの国から彼らが約束されたその良い土地に連れて行く油そそがれた者であると彼らが納得するまで行いました。それから彼らがモーセが神の御名によってしたこれらの素晴らしいことを見たとき、彼らは喜んで彼に従いました。そして彼は彼らを連れ出し、紅海を通り抜け、乾燥した土地のように渡り、荒野の旅へと導きました。それはテストの時を意味します。

36 ある人がキリストを救い主として受け入れるとき、すべてが家のてっぺんにあります。しかし、この人が聖霊のバプテスマに入る前に、彼は最初に聖化されるプロセスを持っていなければなりません。彼は人生で試練の時間を持っているに違いありません。みなさんはそれを持っていました。彼にはこの試練の時がありました。「主は愛する者を訓練し、受け入れるすべての子を、むち打たれるのである」。あなたがたは訓練として耐え忍びなさい。神はあなたがたを、子として取り扱っておられるのである。いったい、父に訓練されない子があるだろうか。」と語った。しかし、「すべてのものが神を愛する者たちのために共に働く」ことを知って、私たちが懲罰に耐えることができれば、私たちは神の息子と娘になります。それから彼は私たちの贖いの日まで聖霊で私たちを封印します。ほら、それは懲らしめ、訓練は私たちが経験することです。

そしてイスラエルは、歴史的な類似として、この懲罰を受けなければなりませんでした。

37 さて、彼らがエジプトに降りて来た時、神がモーセを送って、彼が杖を伸ばしたとき、ノミとシラミが地面にきました…彼は太陽に向かって伸び、そしてそれは沈んだ。彼はそれを水の上に伸ばし、彼らは血に変わりました。だから、イスラエルはカナンのごセンで終わり、ただ輝かしい時を過ごしていたのです。太陽は決して沈みませんでした。疫病が彼らを襲ったことはありません。つまり、あなたが最初に救われたときと同じように、彼らはただ輝かしい時間を過ごしていたのです。

すべて、鳥は違う形で歌いました、そして、誰もが優しくかったです。そして、ああ、何とも、あなたが最初に救われたとき、すべてがいかに素晴らしかったか。それから、試練の時、懲らしめ、聖化の時が来て、世の事柄から自分自身を聖化して、「あなたを簡単に悩ませる重荷を脇に置いて」ください。男であるあなたは、喫煙をやめ、飲酒をやめ、プールルームに行くのをやめ、オールナイトカードパーティーをやめなければなりません。それらすべてのもの、あなたはイエス・キリストの血への信仰によってそれらからあなた自身を聖別しなければなりませんでした:あなた自身を聖別すること。あなたがた女性はあなたの髪を伸ばし、長いドレスにし、あなたがそうであったものとは違うように振る舞わなければなりませんでした:聖化する時間。多くの場合、彼らは反逆して戻ってきました。まあ、それは神の子ではありません。分かりますか?神の子供はカルバリーをまっすぐに見て、それが彼の益のためであることを知っています。

38 ですから、その時の流れの中で、イスラエルに大なる墮落がやってくるのです。この大きな混雑の時間になると、人々は一方の側からもう一方の側に落ち始めました。それから彼らのおしゃべりで、「まあ、私たちはエジプトに戻っていたらいいのにとおもいます。私たちの魂はこの軽いパンを嫌います。」言い換えれば、私が今歴史的にそれを取るとしたら、それは彼らが言ったことです。

さて、現代では、「ああ、毎週水曜日の夜、祈りの集会。毎週日曜日の朝、教会に戻ります。何が聞こえますか？同じこと。説教者は立ち上がって説教します。歌；戻って行きなさい。」ほら、それならあなたはただの義務として進んでいるのです。あなたは崇拜者ではありません。崇拜者はそこに行き、礼拝し、神の前で自分を表現し、神の善良さを称賛します。すべての言葉に、彼はそれに固執します。

39 まるで恋愛のように。もしあなたがそれが義務だと知っていたので女の子と一緒に行くのなら、あるいはあなたが若いときに男の子と一緒に行くのなら…「ママは私にこの男と一緒にいきたいのですが、私は彼に耐えられません。」あなたは彼があなたに会いに来ることは何もありません。または、それが女の子から男の子へ、または男の子から女の子への同じ方法である場合。あなたは彼女と一緒にいきます、彼女はあなたを退屈させます。彼女はママが好きなタイプの女の子なので、ママはあなたに彼女と一緒に行って欲しいです。ほら、それはあなたを退屈させます。恋愛関係はありません。しかし、あなたは気にしません。片付けたくない。あなたは彼女に会いに行きたくないのです。そしてそれは…だから、それは恐ろしいことなのです。そして、彼があなたに会いに来るとき、あなたは彼が急いで家に帰りたいと願っています。

それは同じやり方なのですそれはあなたが「なぜ彼はそんなに長く説教するのですか？これらすべて、そしてすべてについてはどうですか？」と言うのとほら、あなたは恋に落ち切っていないのです。

しかし、あなたが本当にすべての御言葉をしっかりと信じるとき、今朝聖霊があなたに警告を与えたように（分かりますね?）、「すべての御言葉にしっかりと信じしがみつくと…」それは彼があなたに話し続けていることかもしれません。つまりはしがみつくとそれは永遠の命、すべての神の御言葉です。どんな状況でも教会に行くのは喜びです。暑い、寒い、無関心、人々が大騒ぎしている、うなり声を上げている、何をしているにせよ、それでも主の御言葉を聞くことは喜びです。それからあなたはキリストに恋をしているのです（分かりますか?）。あなたは教会に行くのが大好きです。

40 「さて、ハニー、ここでまた日曜日の朝です。私たちは若い子供たちを洗い流してそこに降りなければならぬと思います。何で、それは退屈だ」。ほら、あなたはイエスと恋をしていない。

しかし、あなたが本当に恋をしているなら、日曜日の朝が来るまで待つことはできません。あなたは彼らと一緒にそこに行くことに違いないのです。そして、私たちは理解し、去ります…神の民、彼らはあなたを退屈させません。なぜなら、彼らは一彼らは兄弟姉妹だからです。私がよく言ったように、「寒い朝にはトウモロコシの糖蜜と同じくらい厚くなる」。それ一流れないのです。それはただ一緒にとどまります、ご存知のように、しっかりとしがみついています。さて、それは失礼な表現ですが、それは私が何を意味するのかをあなたに知らせようとしているのです。分かりますか？あなたは一緒にくっつきあうのです。そして、それが冷たくなるほど、彼らは固くなります。そして、それは私たちと一緒にあるべき方法です。つめたくなればなるほど…

地上の友達に見捨てられたとき、
彼にしがみつくとさらにもっと密接に。

41 そして、私たちがお互いに愛しているのは、私たちが誰かだからではありません。しかし、私たちが愛しているのはお互いの内におられるキリストなのです。分かりますか？私たちが愛しているのは、私たちの内におられる神なのです。今、私たちは古い賛美歌を歌って、一緒に集まるのが大好きです：

至福の絆を結ぶ
クリスチャンの愛における私たちの心。
親族としての心の交わり
天のようなものです。

ほら、親族の交わりは天のようなものです。

我々の天の父の御座の前で、
私たちは熱心な祈りを注ぎます。
私たちの恐れ、希望、目的は一つです、
私たちの慰めと気遣い。

分かりますか？はい。誰かが祝福がされたとき、私たちは皆それについて幸せです。誰かが悲しいとき、私たちは彼と一緒に悲しいのです。私たち—私たちは皆一緒にいたいのです。さて、それが私たちの本来の姿です。

42 そして、それはイスラエルがそうであったはずなのです。しかし、それは重荷になり「ああ、この古い軽いパン、天使のパン…さて、私たちはこの古い軽いパンについて何を気にしますか？私たちの魂はこのようなも

のを嫌います。そして、すべてが狂ってしまったのです。そして、そして毎晩落ちるこの古いマナ、というのは、私たちはむしろエジプトからニンニクとネギを食べたいのです。」ほら、彼らの心は旅への準備ができていませんでした。

そして、男性または女性が教会に行くことについて不平を言い始めるとき、彼らは教会に行くことにとてもうんざりしているならば、彼らはその旅のへ準備ができていません。そうです。どこかに問題があります。

ああ、あなたが神を愛し、あなたが天国に行くと思っていて、あなた方全員が一緒に行くと思っているとき…

なんという交わり、なんという神聖なる喜び
永遠の腕に寄りかかる；
ああ、何が私の主との平和をととも近くで何という祝福、
彼の永遠の腕にもたれて。

なんと言う…私たちはそれらの賛美歌を歌います。
私たちはお互いの悩みを分かち合います、
我々の相互の重荷を負いあうのです
そしてしばしばお互いのために流れます
思いやりにより流す涙。
私たちが別れを告げるとき、
それは私たちに内面の痛みを与えます。
しかし、私たちはまだ心の中で参加します、
そして、次の祈りの集会の時間にまた会えることを願っています。(はい、まだ心の中で加わっています!)

43 今、あなたは旅の準備をしています(分かりますね?)。あなたは約束の地、テストの時間に入る準備ができています。危険な場所、荒野、試練の時があります。

イスラエルは、彼女のテストの時間に、お互いに喧嘩して騒ぎ、パンを嫌うようになりました。そして彼らはエジプトに戻りたかったのです。

そして、その時、彼らは彼らのリーダーについて不平を言い始めます。ああ、彼らは彼が彼らを迷わせているのではないかと恐れていました。彼がリーダーであることを示し、神が彼がリーダーであることを証明した後。「まあ、多分私たちは少し狂信的に行動したかもしれません。そして、そして多分私たちは降りたのかもしれませんが、すべて間違った足で」またはそのような何か。分かりますか?彼らは神とモーセ、つまり神とその指導者に対しておしゃべりをしていました。

44 さて、ある場所に着くと、「みことばがこれあるいはそれ以外のものを意味するのかわかりません。そして、私は聖霊について知りません。私はそれについて少し懐疑的です。そうでない人を知っています。」さて、エジプトに行きます。分かりますか?

しかし、もしあなたが本当に道にとどまることを決心しているなら、この導き手である聖霊と正しくとどまり、みことばと正しくとどまりなさい。そして、もしあなたが御霊にとどまるならば、それがあなたを御言葉の中にとどまらせるでしょう。そうです。それはあなたをみことばの道に沿ってすぐに連れて行ってくれるでしょう。そして、それを恐れなくてください。それは何も傷つけません。あなたが怪我をしている場合、それはあなたを助けるでしょう。それはすべての傷を癒します。聖霊はそうするでしょう。

45 さて、この道に沿って、彼らがこのようになった後、彼らはホレブの場所に来ることがわかりました。そして、H-o-r-e-b、ホレブ、それから私たちは見つけます…その名前を分解してみましょう。そこで、ホレブという名前は「乾燥した場所」または「砂漠」を意味します。

そして、私たちが教会でお互いの交わりから抜け出し、聖霊との交わりから抜け出すとき、それは私たちが乾燥した場所、砂漠、何も生きていない場所に連れて行き、すべてにステッカーが貼られています。ほら、砂漠、そのステッカーが貼られた小さなサボテン。それが何か知っていましたか?それは水がなかった貴重な小さな柔らかい葉です。ステッカーになるまでしっかりと巻かれています。そして、あなたがそのような誰かを見るとき、多分それは正しく水をまくことができた貴重な魂であり、柔らかい小さな葉か何かであったでしょう。しかし、その代わりに、それはそれがステッカーになるまでそれ自体を巻き上げ、ただすべてをパンチして、あなたが知っているように、欠点を見つけてます。必要なのは水だけです。それだけです。それはただ一そ

れはただ一リバイバル、または解散、主から休息が必要なのです。それは、あなたがそれを水に置くだけで、その小さな自己を展開するでしょう。

46 しかし、それはその場所に住む彼らがその場所の状態に苦しむ必要がある場所です。そして、すべてがただパンチと騒ぎであり、そのように喧嘩と煮込みをしているような雰囲気に住みたいと思っている人は、まあ、あなたはその雰囲気の下で生きるでしょう。それだけです。しかし、私たちはそこに住む必要はありません。私たちがそこにいる必要はありません。

さて、このホレブは、人々がこの場所にさまよってこの状態になったので、神が人々に落胆した場所でした。そして、彼らがその道を歩かないように、彼は彼らをそこに連れて来られたのでした。彼らは幹線道路を降り、この脇道を降りました。そして、それは神にひどいことをさせました。彼は…神はモーセに、彼が国を裁いた裁き棒を取り、岩を打ち、水を生み出すようにさせました。

さて、もし私たちがそれを手に入れることができれば、ここに美しい学びがあります。分かりますか？そして、私たちが世話から抜け出し、世に縛られ、物事から抜け出すために、神は世界の裁きを取り、カルバリーで彼自身の息子をそれで撃ち殺し、私たちが自由になるかもしれません。私の言っていることが分かりますか？

47 さて、これらの人々を水に連れて行くために、彼らがそこに着いた後、この乾燥した場所はカルバリーにされました。そしてそこで神はモーセに言われました。彼は言った、「杖と長老たちを連れて出て行ってください、そうすれば私はあなたの前の岩の上に立ちます」。そして、この岩はキリストでした。そしてモーセは、イスラエル国民に裁きをもたらした杖を持って、この同じ杖を取り、神の裁きを岩に打ちつけました。分かりますか？彼は人々の罪をこの杖に取りました。彼が岩をうった人々を打つ代わりに、彼は人々を打つべきでした。そして岩は、神の業によって救いをもたらし、滅びゆく人々に水をもたらしました。それは死にゆく人々に命をもたらしました。そして、それは神が彼の裁きの杖を取り、私の罪とあなたの罪をこの杖に巻きつけることによってなされたことです。それが私たちを襲うべきだったが、それがキリストを襲ったとき。それは彼から水が出てきます、それは「霊」を意味します。聖霊は私たちに命を与えるために彼から出てきました。今、私たちは永遠の命を持っています。さて、その岩はキリストでした。さて、注目したいのです。

48 私はこの岩の非常に多くの知的な絵を見てきました。少し前まで、最も重要なものの1つを、丘の上に小さな岩が横たわっているところまで見ました。そして、モーセはこの岩を打つはずでした、そしてイスラエルはティーカップを持ってそこに降りてきて、この岩から落ちた小さな泉から彼らに飲み水を手に入れました。さて、それは誰かの考えです。

しかし、この岩がその水を生み出したとき、牛、ラクダ、そしてそこから水槽で飲んだ他のすべてのものを除いて、200万人以上の人々がいました。そこから出てくるのは噴出する流れでした。

49 それが彼らが今日の聖霊であるキリストを作ろうとする方法です。それはほんの少し振りかけるだけで(分かりますか?)、神がいると信じさせるのに十分です。いいえ。

それは豊富な水なのです。ダビデは言った、「私の杯は溢れます」。それはただ聖霊があふれることなのです。

人々はそれを恐れています。一部の人は、「まあ、私はこれやあれをやるのが少し怖いですが、あるいは私がたまたま少し深く行き過ぎたら。誰かが少し行き過ぎていることをお見せできます。」しかし、あなたはそれが十分に進んでいないことを決して指摘しません。分かりますか？十分に進んでいないものはどうですか？

50 さて、肉体に入って間違っただに降りた人が何人かいます。そして—そして神ではなく、人々は…リーダーシップが良くないなどの理由で、彼らは間違っただに降りて、彼らは狂信的になりました。そして全世界で、悪魔は彼らを指さします、「それが分かりますか？分かりますか？」

さて、今朝立って、始めさえしなかったこれらの数千万倍以上を指摘させてください。彼らについてはどうですか？ほら、彼らの状態を見てください。今日のアイヒマンのような高い位置にある人を見てください…彼らは、「ペンテコステ派は非倫理的で不機嫌で、教育を受けていません」などと言います。世界で最も教育水準の高い男性の一人であるアイヒマンを見てください。そして彼は600万人の子供と女性と男性、600万人の魂を殺しました。あなたはそのような人を指さしたくないのです。

51 しかし、ほとんど読めなかった小さな人が、聖書の名前を間違っただけで呼んだり、何かを言ったり、何か間違っただけをしたり、間違いを犯したりした場合、新聞はそれをどこにでも書き留めて、「彼らは信頼されるべきではありません。」と言うのです。

それなら、それが信頼できないのなら、教育、彼らが今日持っているものや知識人はどうでしょうか？アドルフ・ヒトラーを見てください。今日の世界の頭脳を見てください。彼らを見てください。「ガチョウのソースは雄ガチョウのため/妻の物は夫のものとなる」という古いことわざ。

あなたがしなければならないことは、聖霊によって、正しいことと間違っていることを分け、正しいことと間違っていることをとることができるということです。

52 さて、私たちは彼らが持っていたこのカルバリーと生命の水が人々のために噴出したことを知りました…

さて、ある人々は、すべてのイスラエルが飲んだことを心と思い、ラクダを詰めてヒッチを馬に縛り付けたり、子供たちを連れて別の場所に旅して、岩を離れてただ振りかけるのです。それは間違っています。

その岩が彼らに従い、その水が彼らに従いました。さて、第一コリント人への手紙の第10章、そして第11節で、その岩がイスラエルに従ったことがわかります。彼らがその日からどこへ行っても、岩は彼らと一緒にいき、水は彼らに従いました。

53 なんと美しい類似であり、今日の信者にとって美しいホールドと錨であり、かつて打たれた岩、かつてカルバリーから注ぎ出された水が、私たちがどこにいても一緒に行くことを知っています。ああ、何という事。それは特定の場所に戻って、「まあ、私たちは昨日の前日に、あそこに水があった」と言うわけではありません。その岩がキリストだったので、今日ここで水を得ているのです。そして、キリストは昨日も今日もそしていつまでも変わることがないのです。

ほら、その岩はイスラエルに従った。彼らは岩を追うことはありませんでしたが、岩は彼らに従いました。アーメン。イスラエルは彼らの旅に出ました。彼らにはやるべきことが一つだけありました。それは、約束の地にまっすぐ進み、まっすぐ進み続けることなのです。そして、岩と水が彼らに従いました。

…岩は彼らに従った…

第1コリント人への手紙があなたにそう言っています、第10章。大丈夫です。

…その岩はキリストでした。

54 神は民の裁きを受けてキリストの上に置かれ、彼は撃ち殺されました。それ以来、岩に裂け目があったことに気づきましたか？岩にはモーセが撃ったところに裂け目がありました。そして、キリストは打たれたとき、「彼は私たちの罪のために負傷し、彼の打たれた傷によってで私たちは癒されました」と裂け目がありました。その生命から、今日私たちがとても楽しんでいる生命の水が生まれます。

55 さて、この命を得るために…キリストのいのちは教会にとどまっていることを忘れないでください。ハレルヤ。ああ、もし私たちが次の10分間そこに私たちの考えをしっかりと置くことが出来るのであればキリストは教会を離れません。「世の終わりまで、私はいつもあなた方と共にいます。」キリストが人々を去るのではなく、キリストを去るのは人々です。人々は彼らの不信仰によってそれを去ります。彼らはキリストが人々を去るのではなく、キリストを去ります。

イスラエルは、イスラエルを去る小川ではなく、小川を去りました。わかりますか？聖書は、岩と水がイスラエルに従ったとはっきりと述べています。彼らに従ったのです。彼らがどこへ行っても、それも行きました。

56 ああ、今朝、時間があれば、ヨシヤ記の第一章に戻りたいと思います。そこで彼は、「あなたの足の裏が踏んだところならどこでも、私はあなたに与えました。あなたがどこへ行っても、あなたの神、主はあなたと共におられます。人を恐れなくてください。勇気を出してください。どこに足を踏み入れても、どこにいても私はあなたと一緒にいます。」神はヨシヤと共に行く…

同じ神が今朝、この泉の向こうからの飲み物である彼の教会と共にいきます。あなたが足音を立てるところはどこでも、神はあなたと一緒に水を与え、あなたに命を与える正しい場所があります。「私はその時代の終わりまで、いつもあなたと共にいます。」キリストは昨日も今日もいつまでも変わることがないのです。神

の法則…

57 さて、あなたは言います、「では、ブラナム兄弟、なぜ私たちがすべきことをしないのですか？教会での私たちの賜物や物事が、本来あるべき場所に色づかないのはどうしてですか？どのようにして私たちの教会が本来あるべき場所に引き上げられないのでしょうか？」試練の時間の人々はイスラエルがしたように立ち去ります。彼らは神が彼らを去ったと思います。

しかし、覚えておいてください、岩は決してイスラエルを離れませんでした。イスラエルは岩を去りました。その岩が彼らと常に共にいることを忘れていました。それはすぐそこにあり、彼らと一緒に道の終わりまで行きました。「それは彼らに従った。」それは話す距離から外れていませんでした。それは聞こえる距離から外れていませんでした。または、それは見る距離から外れていませんでした。そして、今日のキリストも教会と共におられません。彼は話す距離から外れていません。

あなた方の何人かは背教して、間違ったことをしました、そしてあなたはその喜びを失い、そしてあなたの水は乾ききっています。彼はまだあなたの話せる距離にいます。彼はあなたに従います。彼はあなたがするすべての動きとあなたがするすべてを知っています。彼はあなたが現場で彼を呼ぶのを聞いたがっています。

58 そして、この素晴らしいペンテコステ派の動き、神はあなたが現場で彼を呼ぶのを待っています。あなたは彼と話す距離から外れていません。私たちは間違ったことをし、罪を犯し、彼に背を向け、そして私たちがすべきでないことをしましたが、それでも彼は私たちと共におられます。キリストは私たちと一緒にいると言われました。

聖書は、「水はイスラエルの子供たちに従った」と言っています。彼らが喉が渇いたとき、彼らは水が近くにあることを知りました。

59 現在、これらのものは律法によって管理されています。神の体制のすべては律法によって定められています。さて、私たちは…ちよつと立ち止まりましょう。

世界を見てみましょう。それは変わります。24時間ごとにそれは完全な革命を起こし、とても完璧なので、私たちの科学のすべてで、完璧な時間を保つための時計を作ることではできませんでした。たまに、彼らがこれまでに作った最高の時計は、1年の施行で、何分も増えたり失ったりします。しかし、世界は決して失敗することはありませんが、彼女がすぐそこにいるのです。今日の科学者までは完璧で、天文学者は今から20年後、または今から50年後、まさに太陽と月がすれ違うと言うことができます。それがその24時間の円を回し、そしてそれが季節の軌道の周りでその時間を回すとき、それはチックを逃しことはありません。ハレルヤ。それは神の法則に従って動いているので、それは完璧です。

60 彼らは月が何時に落ちるかを知っているので、彼らはその潮がちょうどその瞬間にいつ消えるかを正確に知っています。そして、神はすべてを法律によって整然と整えられました。そして、その月が沈むと、それとともに潮は消えていきます。その月が昇ると、ここに潮が来ます。そして、彼らはその月がいつ沈むかをタイミングによって正確に知っています。彼らはそれを何年も先の生活暦に載せて、その潮がいつ落ち始めるかをあなたに告げることができます。確かに、それは月が出て行く方法だからです。なぜなら、それは神の律法の順序で設定されているからです。

61 先日、ミシガン湖のほとりに立っていました。そして、私はカナダへの道でその大きな水域であるスーペリア湖に行きました。そして、私はそこに立って、「このこの素晴らしいまっすぐな水を横切って何マイルですか？」と思いました。そして、ミシガン州、またはスーペリア湖を渡った後、ほぼ同じ水域であるミシガン州に入りました。そしてそこまで、スーペリア湖からミシガン湖まで、ミシガン湖からオンタリオ湖まで、そしてヒューロン湖とすべての湖を一緒に。何十億倍何十億倍何十億倍、そして無数の新鮮な水の樽がその湖の中に横たわっています。

そして、ネバダ州とニューメキシコ州アリゾナ州の向こうに、カリフォルニア東部には数百万エーカーの乾いた燃えている地面があり、それはとても肥沃なので、もしその水がその地面に着くことができれば、この国は空腹の人々もいなくて世界を養うことができます、海に投げ込む余剰があります。そうです。何百万エーカーも、何百万トンものジャガイモ、キャベツ、豆、そしてレタス、ラディッシュ、セロリ、きゅうりなどの何トンにもなります。地面はそれらを成長させるでしょう。それは—それはただ水への憧れです。

62 そして、ここに水があり、ここに地面があります。今、私たちはそれを見ることができます、そして私たちはそれがそれを知っています、なぜなら私たちは水をテストしてそれが新鮮であるのを見ることがで

き、そして土壌をテストしてそれが肥沃にするようにできるからなのです。今、私たちにできるすべての願いがそれらを一緒にすることは決してありません。しかし、法則があり、その法則は重力です。さて、もし私たちが重力に従って仕事をするなら、私たちはその土地のあらゆる部分に水をまき、湖から水を取り、それに水をまくことができます。しかし、私たちは重力の法則に従って働かなければなりません。私たちはそこにそれを望むことはできません。私たちはそこでそれを叫ぶことはできません。私たちはそこにそれを叫ぶことはできません。私たちはそこに到達するために重力の法則に従って働かなければなりません。神はすべてを律法に入れるのです。

63 ここで私は考えていました。私があなたにこれを言ったかどうかはわかりません。私は約1年前にウッド兄弟と一緒にケンタッキー州でリス狩りをしていました。そして私たちは…リスが少なかったので、ある人の家に行って狩りについて話していました。男は数エーカーの地面を持っていました、そしてこの地にはたくさんの森がありました。しかし、ウッド兄弟はその男は不信者だと言いました。彼は一彼は不信者です。それで彼は彼を知っていると聞いたので、彼、または彼の父親は彼を知っていました。彼は行って、私たちが狩りに行く許可を得ることができかどうか尋ねました。

私たちは紳士のところまで車で行きました。そして、彼ともう一人の男性は、どちらも70代で、リンゴの木の下に立っていました。そしてウッド氏がこの男の所に入って行き、彼は彼に言いました、「あなたの場所で少し狩りをしてもいいですか？」そして彼は「まあ」と言いました、「大丈夫です」と彼は言いました。彼は言った、「あなたは何の木ですか？ジム・ウッドの息子さんですか？」

彼は「そうです」と言いました。

彼は「まあ、ジム爺さんは正直だった、など」と言った。そして、言った「私の場所で、どこでも好きな場所で狩りをすることができます。私はここで何百エーカーも手に入れました。お好きなように。あなたが望むところはどこでも、それらのくぼみに降りて行ってください。気楽になさってくださいね。」

私は車に乗り込みました。なぜなら、私たちが異教徒にお願いするなら、説教者と異教徒は一緒にはうまくいかないと思ったからです。

64 それでしばらくして、ウッド兄弟は言いました、「さて、今、牧師を連れて行ってもらえますか？彼と一緒に来るのは正しいことだと思う」と語った。

そして、この老人は杖を振り返り、「ウッド、どこへ行っても説教者がいなければならないまで、あなたはとても低く身をかがめたと私に言うつもりですか？」と言いました。

それで、その後は車から降りたほうが良いと思いました。それで私は車から降りて、老紳士と数分話しました。そして、彼は彼らが何も知らないことについて話していると思ったので、彼は説教者にはあまり役に立たなかったことをすぐに私に知らせました。

彼は言った、「彼らは彼らが何も知らない何かにただ怒鳴りつけます。まあ」と彼は言った、「人が私に話しかけると、私は彼に彼が何について話しているのかを知ってもらいたい」。さて、それは良い意味です。それは良い意味です。彼は言った、「今、人が私に話しかけるなら、私は彼が何も知らないという仮定で、彼に何かについて話してほしくない。彼が話していることを知っていることを彼に話してもらいたい」と語った。まあ、私はそれを光栄に思いました。私は老紳士においてそれを尊重しました。

それで私は「もちろん、それは彼自身の意見のすべての人です」と言いました。

65 そして彼は、「数年前にこの国に来て、アクトンで集会を開いた説教者が一人いた」と言った。そして彼は言った、「ある夜、田舎で見知らぬ人であるこの説教者は、聴衆の中にいる女性に言いました。」あなたはポケットにハンカチを持っています。そして、あなたは何某夫人です。そして、あなたはここの丘の上に病気の姉妹がいます。彼女の名前は何某です。彼女は胃の癌で死にかけているのです。」そして言った、「このハンカチを取り、あなたの姉妹の上に置いて、「主は彼女は死ぬのではなく生きると言われている」と彼女に言いなさい。」

彼は「この同じ女性は私たちの友達だった」と言いました。そして、「私たちはこの女性を連れて行きました…このハンカチを上げます。またはこの人からその人へ…」最初に彼は言いました、「この女性、私の妻と私はその朝そこにいて、この女性を待っていました。そして、彼女は医者がずっと前に彼女をあきらめていたのでとてもひどいものでした。私たちが彼女をシートに入れて動かし、彼女を持ち上げて便器に乗せ、彼

女を取り戻すまで、彼女はとてもひどい状態でした。彼女をシートに入れてください、彼女はとてもひどいものでした。」彼は「ある夜、あそこで誰かが死んだような音がした」と言った。

66 それはベンがそのハンカチを持っていて、あそこに持っていきました。ベンさん、あなただっと思いますよね？[ベン兄弟は言います、「アーメン。アーメン。」—編集。]ベン兄弟がそのハンカチを手に入れました。なぜなら彼はその女性をあそこに連れて行ったからです。

そして、「翌朝、彼女は揚げリンゴのパイを食べていました」と言いました。そして、言った「彼女は自分の仕事をするだけでなく、隣人の仕事もします。彼女はとても元気でした。」彼は言った、「今、私はしばしば疑問に思いました。私とその説教者を見たことがあれば、彼は彼が何について話しているのか知っていました」と「私は彼と話したいのです」と言いました。

ウッド兄弟が私を見渡し、私は彼を見渡しました。そこに立っていて、汚くて、汗をかいて、穢い、森の中でキャンプしていて、そして私たちのいたところにリスの血が流れていました。それで私は「まあ」と言いました「それは…あなたはこの人と話すことができ、彼がそれをどのようにしたかをあなたに話すということですか？」

彼は、「はい、そうです、それが私の言いたいことです」と言いました。

私は「まあ、それはいいことだ」と言いました。

67 私は彼のリンゴの一つを食べていました。今年の秋、8月に少し古い黄色いジャケットが着ていました。だから私はこの小さなリンゴを持っていて、それを食べました。そして私は「それはとても良いリンゴだ」と言いました。私は「あの木はそこにどれくらいの間ありますか？」と言いました。

「ああ」と彼は言った、「私はその木を30年か40年前か何か別のものに植えました。」

「はい。」「質問したいのですが」と言いました。私は言いました「いったいどうやって…それらのリンゴがその木から落ち、葉が落ちているのがわかります。ここでは8月中旬に過ぎません。」そして私は言いました、「私たちはクールな呪文さえ持っていませんでした。私たちは霜や何かさえ持っていませんでした、それでも彼らの葉はその木から落ちています。それはなぜですか？」彼は「樹液が木から出た」と言いました。「ああ、どこに行ったの？」と私は言いました。彼は「根っこに」と言いました。そして私は、「それなら、それはいつまでそこにとどまるのだろうか？」と言いました。彼は「春まで」と言いました。

そして私は、「それから戻ってきて、新しい葉を育てて日陰にし、新しいリンゴを食べさせます」と言いました。彼は言った、「そうです。まさにその通りです。」

68 私は言いました「まあ、私はあなたに何かを聞きたいのです。あなたは彼らが何について話しているのか知らないこれらの人について話します。」私は言いました。「どのような知性によってその樹液をその木から離れさせる理由を説明してもらえますか？それが冬の間そこにとどまるならば、木は死ぬでしょう。あなたは木を殺すでしょう。生命の芽はその樹液の中にあります。」それで私は言いました「それは木を殺すでしょう。どの知性はその樹液をその木から出て根に落とし、春になるまでとどまり、それから再び上がって、さらにリンゴを持ってくるのですか？」私は言いました。「水をバケツに入れて柱に置き、8月に柱の底に降りて春に戻ってくるかどうかを確認してください。わかりますか？」私は言いました、「いくつかの法則があります。自然の法則があります。ある知性はこの法則を整然と定めています。それだけでなく、同じ知性はその法則を操作する必要があります。それはそれを木の根に落とし込み、戻ってきます。」

彼は「私はそのことを考えたことがなかった」と言った。

私は言いました「できますか…その樹液をその木の枝から根に下ろして戻ってくる知性を見つけることができれば、それはその夜あそこに私に言ったのと同じ知性なのです。「行って、そのハンカチを女性に置いてください。」彼は言った、「そしてあなたはその説教者ですか？」私は「はい、そうです」と言いました。

69 去年私がそこに来た時(彼は去りました)、そして彼の未亡人がポーチに座っていたとき、同じ木からリンゴをはがしていました…兄弟…最初に彼らは私たちを外に追い出そうとしていました。彼らは私たちが誰であるかを知りませんでした。そして私は行って、それについて彼女に話しました、私たちは彼から許可を得ていると。そしてそれについて語り、「彼は死ぬ前にキリストを完全に告白した」と言いました。

ほら、その木は何ですか、どの知性がそれを実行しますか？それは律法なのです。それは神が定められ

た律法です。そして、その法則は僕が世話をする神の法則です。アーメン。

ご存知のように、私はあなたがどれほど叫んでいるかは気にしません、そして今言います、「それは…この夏、太陽はもう輝きません。」とにかく輝きます。「私—私—私は夜を迎えるつもりはない」とあなたがどれだけ言おうとも。とにかく来るでしょう。私たちが生きているこの世界と呼ばれるものは、神の律法によって支配されているからです。

70 さて、兄弟姉妹の皆さん、お聞きしたいことがあります。そして、もし私たちが神の御霊から新たに生まれたら…神には小さな弱い部分と大きな強い部分はありません。彼は完全に神です！そして、もしあなたの中に十分な神がいるなら、それがかろうじて影になるまで、それは新しい地球を作るのに十分な力です。それは新しい月と新しいシステムを作るのに十分な力です。それは神であり、それは強いのです。そして今、ここにいるすべての信者には永遠の命があります。それはあなたの中にある神の霊です。死者をよみがえらせ、病人を癒し、軌道に条件を設定するのに十分な力。しかし、あなたは…それは律法、あなたの中にあるその霊によって支配されています。あなたは神の息子と娘です。あなたがあなたの中におられるのと同じ霊が、復活の日あなた自身をよみがえらせます。

71 イエスは、彼がこの地上にいたとき、彼が死んだとき、彼の魂は地獄に降りて、刑務所にいた霊、刑務所にいる魂に説教しました。彼らはノアの長い苦しみの中で悔い改めませんでした。彼の体は墓に入った。しかし、彼は死ぬ前に、彼の霊を神の手に委ねました。彼の霊は神に行きました。彼の魂は地獄に行きました。そして彼の体は墓に行きました。そして、聖書が成就されるまで、イエスは復活を禁じられていました。彼は墓に3日と3晩滞在しなければならなかったのも、彼は戻ることはできませんでした。しかし、聖書がすべて成就したとき、この取り決めは取り除かれました。彼の霊は彼の魂に、彼の魂は彼の体に降り、そして彼は蘇られたのでした。

72 そして、私たちが死ぬとき、私たちの魂は神の祭壇の下に行きます。あなたが知っているように、聖書が語っている幻の中で、私は数朝前に見る特権がありました。私たちの霊はそれを与える神に行き、私たちの体は地球のほこりに戻ります。しかし、いつの日か、聖書が成就されると、私たちの霊は神から解放され、魂を拾い上げ、魂を体に取り戻すでしょう。そして、私たちを引き上げる力は、今私たちの中にあります。私たちは今、天国にいます。私たちは今、復活の力にあります。

それに対する法律がなければ、神の息子と娘は彼らにここに世界を作り、そこで私生活を送るでしょう。あなたにはそれをする力があります。神の力の影があなたの中にあるなら、あなたはそれをする力を持っています。神は全能の方です。意味がわかりますか？あなたの中にある力が…あなたは世を存在するように語り、その上で生きることができます。ハレルヤ。そういうことなのです。

それが今の教会の中にある力ですが、それが法律によって管理されています。そして、その法律はたくさんの戒めを守っていません。それは信仰の法則です。イエスは、「信じる者にはすべてのことが出来る」と言われました。そして、あなたがそれを信じることができれば、神があなたの魂を信じるように導くものは何でも、それはあなたのもので、あなたの足の裏が信仰によって置かれることができるすべての場所で、神はあなたにそれを与えます。アーメン。それはあなたのもので、あなたがそれをあなたに開くこの信仰の法則への鍵を見つけることができれば、あなたはそれを所有しています。私の言わんとしていることが分かりますか？その力は…によって制御されていますあなたが神の息子であるならば、あなたは神の娘であるならば、決してあなたを離れることはありません。それはいつもあなたと共におられるのです。しかし、あなたの信仰はそれから離れますが、それはまだそこにあります。ハレルヤ。

73 あなたが救われるとき、神はあなたに地の泥から立ち上がる信仰を与えます。あなたの信仰は世のものを克服します。あなたの信仰は何ですか？あなたの信仰とは、あなたを神の子にするために神があなたに対してなされた行為です。あなたは嘘をつくのをやめ、盗むのをやめ、飲むのをやめます。なぜならあなたの信仰があなたをその上に引き上げるからです。アーメン。あなたがそれをしないのであれば、あなたは信仰を持っていません。「そして信仰によってあなたは救われ、それは恵みによるものなのです。」

あなたの信仰が解放される限り、それはあなたが持つことができる力です。なぜなら、あなたの中には天と地を作る力が宿っているからです。神はあなたの中に宿り、あなたがたは神の息子と娘なのです。アーメン。そういうことなのです。しかし、それはあなたの信仰です。イエスは言われました、「あなたの信仰どうり、その身になるように。もし信じるならば、全ての事が出来る。よく聞いておくれがよい。だれでもこの山に、動き出して、海の中にはいれと言ひ、その言つたことは必ず成ると、心に疑わなひで信じるなら、そのとおりに成るであろう。…」

74 では、私たちの内に住むこの偉大な贖いのキリスト、教会を離れることのないこの打たれた岩を信じるならば、私たちはどのような人々になるべきでしょうか？「私は世の終わりまであなた方いつも共にいる」カルバリーから教会に注がれた救いと力の大きいなる噴出の永遠の臨在、生ける神の永遠の臨在、大きいなる流れ、打たれて私たちの旅で私たちと共におられる岩。

75 イスラエルは信仰を失いました。彼らは道を外れた。彼らは肉の壺を欲しがり始めます。もし彼らが信仰を持ち続け、神が彼らをその地に連れて行くこと信じていたら、彼らを妨げるものは何もなかったでしょう。彼らはすでに海を開いていました。彼らは敵の上に疫病を撃ち送りました。彼らは背後にいる敵を十字架につけ、その土地に足を踏み入れましたが、それでも約束を続ける信仰を持ってませんでした。

ヨシュアとカレブはその信仰を持っていました。彼らは、「私たちは、私たちの前に来るものすべてを征服することができる以上のものです」と言いました。

それが教会の問題です。私たちはあらゆる病気を克服することができます。私たちはその力を我々の内に持っているのです。私たちは神の息子と娘であり、誰も何も、私たちの前に立つことはできません。唯一のことは、彼はそれを信じ、神があなたのためにすでになされたことを信じる誰かを見つけないのです。「私たちはそうなるでしょうではありません。私たちは今そうなのです。」そして、永遠に生きる御霊の臨在が私たちと共におられるのです。アーメン。そういうことなのです。

76 それが私が今朝主題について話したとき私が意味することです、岩からの絶えることなく流れる水。岩から絶えまなく流れる水は今ここにありますが、カルバリーでその打たれた岩からの絶え間なく流れる水。その聖霊がカルバリーで彼から出て、ペンテコステの日に教会に戻ったとき、その同じ聖霊が今朝ここに臨在しているのです。そしてそれは私たちに約束を与えてくれます。

それが理由で、病人の前を歩いていて、彼が私に向こう側に依頼したとき、私はそれを信じています。神はそう言われました。それが幻が起こる方法です。神がそれを約束されてきました。神は嘘をつくことはできません。

77 信じてください。あなたはそれを信じなければなりません。何かがそこにあるようになったそのねじの戸を開いて、あなたがそれに入ることができるようにそのことを開いてください。今日私たちが必要としているのは、より多くの力を祈ることではありません。新しい地球を作るのに十分な力があるのです。必要なのはその力を使う信仰です。あなたが必要としているのは、その人生をコントロールし、神に何かを尋ねたときにあなたが知っているような敬虔な人生を送ることです。私たちはそのことにおいて神に確信を持っています。私たちが彼の戒めを守るならば、私たちが彼と一緒に歩くならば、彼は私たちから良いことを差し控えないでしょう。神は私たちと共に歩いておられています。ああ、何という事。

78 彼らにはやるべきことが1つだけありました。彼らにはやるべきことが1つだけありました。それはコースをまっすぐに進み、ここをさまよったり、あそこをさまよったりするのではなく、そのコースにとどまることです。教会にはやるべきことが一つだけあります。それはコースに留まることです。彼らは火の柱を持っていたので、次の方法で進路を維持しなければなりません。その火の柱に従ってください。それが彼らを導いたものです。彼らが見ることが出来たものは火の柱だったのです。彼らはそれがモーセを通して働いているのを見ました、そして彼らは彼がリーダーであることを知っていました。

今日、私たちはみことばを得ました。私たちはみことばに従います。そして、私たちはみことばが信者の中で働いているのを見ます、そして私たちはそれがそうであることを知っています：神は私たちと一緒に働き、その後のしるしでみことばを確認します。私たちはみことばにとどまります。みことばが結果を生み出します。

彼らはモーセと一緒にいた。というのは火の柱があったからでした、モーセはそれに従っていました。そして彼らは従っていきました。彼らがモーセに背を向け始め、神とモーセに大騒ぎし始めると、彼らは一方と他方にさまよった。問題が入り込みました。確かに。

79 私たちはみことばにとどまり、みことばはしるしを生み出します。イエス様は、「これらのしるしはみことばを信じる者に従う」と言われました。ほら、それは…にとどまるあなたはみことばにとどまります。みことばがしるしを生み出します。しかし、モーセ、彼は何をしましたか？

彼らはさまよった、そして彼らは何をしましたか？道をさまよって、彼らは水の供給を失いました。

私はそれが今日の教会がして来たことだと思います。それは聖書の道からさまよっています。彼らは主義に乗り出して行きました。彼らはしてはいけない小さなことから離れ始めてしまいました。彼らは物事を採用しました。彼らは使徒信条のようなものを採用しました。それは聖書のどこにありますか？彼らは彼らが読んだカテキズム(公教要理)を採用しました。彼らは経験の代わりに宗派を採用しました。彼らは生まれ変わった経験の代わりに握手することを採用しました。彼らは水のバプテスマの代わりに滴礼を採用しました。聖書にそのようなことがないとき、彼らは邪悪な形「父、子、聖霊」を採用しました。聖書は「イエス・キリストの名において」と言っています。同じ水が必要な場合は、1つだけ行方する必要があります。もう一度、小道に戻ってください。戻って…彼は去っていません。彼はまだここにいます。

80 あなたはキリストの代わりに信条を使うのです。あなたはかんしゃくの中でさまよっています。ある人は「まあ、私はメソジストです」と言いました。もう一人は「私はバプテストです」と言います。それはあなたがクリスチャンではないことを示しています。私たちはキリストのものです。私たちは彼のものです。あなたは「まあ、もし私ならバプテスト」と言います。それがあなたのすべてであるなら、あなたはキリストのものではありません。あなたはバプテストです。あなたは「まあ、私はペンテコステです」と言います。あなたが宗派によってちょうどペンテコステ派であるならば、それはあなたはそれだけの物なのです。

しかし、ペンテコステの経験があるなら…そしてペンテコステの言葉はペンテコステの経験をもたらすでしょう。それらの弟子たちがしたのと同じことに従ってください。あなたが聖霊で満たされるまでそこにとどまりなさい。そして、もしあなたがみことばに反するようになった場合、あなたの中のその霊がみことばの言うことに反するなら、それは聖霊ではありません。それは聖霊になりすましている悪魔です。どこに乗ったか分かりますか？

81 ああ、私たちの何人かは異言で話しました。私たちは呪文やそのようなことを叫び、他のすべてのことを否定しました。私たちは教会に来るために聖書にないすべてのものに苦しみました。今日はどこにいますか？私たちは別の砂漠の、枯渇した組織に戻っています。私たちは組織しました。私たちは水を失いました。それはまさにペンテコステがしたことです。それが組織化し始めると、それは交わりを解散し始め、「まあ、今、この男がそれを信じているなら、私たちは交際しません」と言います。

どうぞ、彼が真理の言葉、真理の知識に到達するまで、彼と一緒にいてください。それが何であれ、とにかく手放してください。ただ続けて、兄弟のようになってください。

しかし、ああ、私たちは組織化しなければならないので、「まあ、あなたはワンネスではないので、あなたはツーネスでもスリーネスでもないの、またはこのように、私たちはあなたとの交わりを持たないでしょう」と言うのです。それでは、それを行うとき、私たちは何をしますか？私たちは再び砂漠に戻ります。そうなのです。

しかし、イスラエルが約束の地への道をさまよったとき、岩は決して彼らを離れなかったことを覚えておいてください。それはすぐそこにとどまりました。水もそうだったのです。聖霊もそうです、そこにとどまっています。我々は再び彷徨う必要はありません。

82 さて、ここで神は私たちに素晴らしいことを教えてください。神はここで私たちに学びを教えてください。キリストは一度打たれ、私たち全員にペンテコステの経験を一度与えてくれました。さて、その岩が打たれたとき、それは再び打たれる必要はありませんでした。それは一度だけ打たれました。

モーセは二度目にそれを打つことによって間違いを犯し、贖罪に対する彼の信仰の弱さを示しました。しかし、キリストが一度打たれたとき、彼は二度と打たれる必要はありません。さて、モーセは何をしていましたか？モーセは何か新しいものを作り上げようとしていました。

そして、それは私たちの聖職者が今日行ってきた方法なのです。彼らは何か新しいものを作ろうとしました。「私たちは自分たちをアッセンブリーズオブゴッドにします。私たちは自分たちをペンテコステ派の神の教会にします。私たちは自分たちを総評議会にします。私たちはこれ、あれ、または他のものを自分たちで作ります。」それは神がされたことではありません。それは彼の考えではありませんでした。

83 キリストは一度打たれました。それが元々の経験です。それが本来の方法です。ペンテコステの日に、ペテロは「悔い改め、イエス・キリストの御名によってバプテスマを受けなさい」と言いました。

「私たちは父、子、聖霊の名において滴礼し、あらゆる種類の信条とそれに関する他のすべてを与えます。」私たちがみことばから離れる時、どこにも行けないのも不思議ではありません…？…

84 神は私たちに学びを教えてください。モーセは、「今、ここで新しい何かを始め、組織し、カトリック教会を作る」と言うべきではありませんでした。それが彼らが最初にしたことです。いいえ、しばらくして、「まあ、それから何か新しいことを始めます。ルター派を作ります。」次に、英国国教会、次にバプテスト、その他、キャンベライト、チャーチオブクライスト、そして反キリスト、その他すべてのものが来たのです。分かりますか？彼らは皆、次々と次々と行き始め、宗派や組織を作り始めました。それだけではありませんでした。彼らが何をしているのか分かりますか？彼らは何か新しいことを始めるために再び岩を叩いています。新しい教義は必要ありません。

85 聖書のすべての人はイエス・キリストの御名によってバプテスマを受けました。聖霊を持っている聖書のすべての人は神の道に來ます、まさに神がするのと同じように…でされたのでした…彼らは同じことをしました。彼らは同じ経験をしました。同じ印が彼らに従いました。同じ業が彼らに従っていきました。なぜですか？彼らはその岩によって生きていたのです。彼らは同じ水を得ました。

そして今日、私たちが非常に多くの信条や宗派を得た理由は、私たちが何か新しいことを始めているからです。我々には新しいものは何も必要ありません。戻る…

モーセは再び岩を打つことになっていなかったのです、何か新しいことを始めました。彼は元の岩について彼らに話すことになっていたのです。ああ、私はあなたがそれを理解していることを望んでいます。モーセは元の打たれた岩について話すことになっていて、それを再び打つことを試みるのではなく、新しいことを始めようとするのではなく、古いものに話すことになっていたのです。

86 神様、助けてください。私が説教壇で乞食を死なせば、私は元の岩について話します。元々の体験についてお話します。私は彼らに聖霊のバプテスマを与えた元の聖句について話します：「あなた方一人一人が悔い改め、罪の赦しのためにイエス・キリストの御名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、あなた方は聖霊の賜物を受け取るであろう。」岩から絶えることなく流れる水は今も我々と共にあるのです。それは同じことをもたらすでしょう。それは幻を生み出すでしょう。それは癒しをもたらすでしょう。それは予言をもたらすでしょう。それは彼らがしたすべてのことをもたらすでしょう。

87 イスラエルが再び聖書に並んで道に戻ったとき、彼らは約束の地に行きました。しかし、彼らは40年かかりました。

ペンテコストは荒野をさまよって約40年か50年になります。岩に戻ってきてください。見えています。ここにそれは御言葉のここに書かれています。聖霊はここで彼がいつもしたのと同じことをしているので、水の永遠の存在がここにあります。ただそれに戻って、前者、オリジナルに戻ってください。

88 その本来はどのようなものでしたか？「まあ、彼らは説教者と握手しました。」そのようなことではないのです。「彼らは父、子、聖霊の名によってバプテスマを受けました。」そのようなことはありません。聖書のどこにも、あるいは外にも、聖書の外で300年もの間、父、子、聖霊の名によってバプテスマを受けた人はいません。それはカトリックの信条であり、聖書の教義ではありません。分かりますか？

89 彼らは聖霊を持っていました。これらのしるしは信じていた彼らに従いました。それは今日もそれがなされるでしょう。その岩は永遠に生き続けている、その打たれた岩。

「さて、あなたは来て私たちのペンテコステ派教会に参加し、私たちのペンテコステ派の領域に入りなさい」とは言わないでください。「いいえ、あなたはやって来て、バプテスト、メソジスト、長老派、またはカトリックに加わります。」それは何ですか？それは、何か新しいことを始めようとして、岩を再び打ちのめしているのです。

彼らの罪の赦しのために「悔い改め、イエス・キリストの御名によってバプテスマを受けなさい」と彼らに言いなさい、「そしてこれらのしるしは信じる者に従うでしょう」。さて、あなたは道に戻り、同じ水に戻ります。同じ水でも同じ飲み物が得られます。それは体に同じ惨劇を与えるでしょう。それは同じ浄化力を与えるでしょう。それは同じ癒しの力を与えるでしょう。私たちが同じ霊に戻るだけなら、それはその時と同じことをするでしょう。

90 ブドウの木の命はブドウを生み出すでしょう。昨年もそうだったとしたら、今年も同じことが起こるでしょう。それが神の法則です。神の法則では、これがブドウの木であるならば、それを放っておいても、それはブドウを生産するということです。あなたはそれを他のものと交配することができます、しかしそれからそれを放っておいてください、そしてそれは再び同じブドウにすぐに戻ります。

ですから、私たちは教会をペンテコステ主義、バプテスト、メソジスト、長老派、英国国教会、その他あらゆる種類の主義と交配させてきました。放っておいてみませんか？ブドウの木に戻ってください。同じ力に戻ります。アーメン。アーメン。私はそれが好きです。

91 「何か新しいことを始めなさい。」私たちがしたのと同じこと。私たちの権威を見せようとししないでください。「何某博士は、何某の偉大な何某教会の創設者です。」そうではありませんでした。

それがモーセが言ったことです。「私に何ができるかを彼らに示します。とにかく持っていきます。」彼はそれを撃った。それは来ませんでした。そして彼は再び「私に何ができるかを見せてください」と叫びました。神はそのために彼に対処しました。

あなたがただある宗派にしがみ付いているならば、あなたは考えないでください。神はそのためにあなたに対処されるのです。まさにその通りなのです。あなたはその本来の物に戻らなければなりません。戻ってきてください。

92 ただ人々に話しかけてください。「あなたは私たちの教会に加わりに来てください」と彼らに言わないでください。あなたは私たちの信条を言いに来ます。」とは言わないでください。「あなたは戻って悔い改め、罪の赦しのためにイエス・キリストの御名によってバプテスマを受けます。心が正しければ、聖霊の賜物を受け取るでしょう。そして、これらのしるしは信じる者に従います。信者のグループ、これらのしるしは彼らと共に行くでしょう。」なぜですか？岩、打たれた岩、そして彼の生命の水がすぐにやって来て、彼がしたのと同じことを生み出しています。それはそれを助けることはできません。

ああ、そうです。私たちは自慢して、「私たちはメソジストとバプテストです」と言いたいのです。

93 ただ岩に話しかけてください。彼は常にご臨在されています。それに参加しようとししないでください。「私はここでそれを喜ばなければなりません。」それに参加しようとししないでください。これに参加することはできません、それは確かなことの1つです。あなたはバプテストに参加できるメソジストに参加することができます。ペンテコステ派に参加できます。あなたは英国国教会に参加することができます。しかし、これに参加することはできません。いいえ。あなたはこれで満たされていなければなりません。参加しないでください。ただそれで満たされなさい。それだけです。何で満たされるのですか？力で満たされ、霊で満たされ、命で満たされ、喜び、平安、寛容、優しさ、善良さ、あなたの命は聖霊の力で満たされているのです。永遠の存在がそこにあるからです。覚えておいてください。

(遅くなっているので、閉じる必要があります。)

94 しかし、岩が彼らを離れることは決してなかったことを覚えておいてください。それは決して彼らを離れませんでした。そして、キリストは決して私たちを離れることはありません。キリストは、「世の終わりまで、私はいつもあなたがたと共にいる」と言われました。そうですか？そして、その岩はホレブからネボまでずっと彼らと共にありました。そうだったのです。ヨルダンまで、それはまだそこにありました。神様、ヨルダンで見たいのです。

モーセ、彼がヨルダンにいたとき、岩はずっと彼と一緒にいました。そして、彼はそこに立って、見下ろしていました。彼の心は彼らを切望していた。そして彼はヨルダンを見渡した。彼はヨルダンに居ました、私が話しているのは霊的なヨルダンです。そしてそこに彼は立っていました。死が彼の袖に近づいていました。しかし、彼は見て、彼のそばに横になって、そこに岩を置きました。彼はちょうど岩の上に足を踏み入れたところ、天使たちがやって来て彼を片付けました。

95 「私は決してあなたを離れたり、あなたを見捨てたりしません。」時代がどんなに厳しくても、何歳になっても、どんな死を迎えても、ヨルダンには岩があるのです。それは決して離れず決して捨てないのです。覚えておいてください。岩からの絶え間ない水は人生を通して、そしてヨルダンにでさえ私たちと一緒にいるでしょう。

96 頭を下げましょう。[予言が与えられる一編集]

その御霊が私たちの間を動いている間、神の御霊が私たちの間を動いている間、今朝ここにキリストを知らない人がいるのでしょうか、そしてあなたはそうです—あなたはその岩の近くにいないのではないのでしょうか？しかし、あなたはそれが臨在することを知っています。それがどこでも働いているのを見て、彼が動き回っているのを見て、それが人々の上で動いているのを見てください。それが絶えることのない水の事なので

す。それが救いです。それは彼らがもはや彼らの平和を保つことができなくなるまで彼らの杯をある場所に走らせる霊です。何かが出なければなりません。そして、あなたは彼を知らないのです、手を挙げて言いたいのです、「私のために祈ってください、ブラナム兄弟。私は今、彼を知りたいのです。そして、私は彼と話したいです、そして私は彼を彼の霊の完全さとして知りたいのです。私は彼がいつも私のそばにいることを知りたいです。私は彼がそうだと信じています。しかし、私は話せる関係のうちに入りたいのです。私は神に対して飢え渴いています。私は彼をもっとよく知りたいのですが?」

97 神はあなたを祝福します。そしてあなたも、神の祝福がありますように。そして、あなた、兄弟。あなたは、ええ、ずっと後ろの方におられる方。ここにおられる、女性、はい。はい、ご婦人。私たちはあなたの手を見て、神はそれらを見てください。若い男性、神の祝福がありますように。神の祝福がありますように。そして、あなた、ご婦人。アーメン。神の祝福がありますように。神の祝福がありますように、姉妹。今他の方々は、沈黙の内に入れてください。若い方、その後ろ側にいる方、神の祝福がありますように。

考えてみてください。考えてみてください。岩からの絶え間ない水、彼が私たちの裁きを下されたとき、彼の裁きの日に彼がそこに叫んだのと同じ霊。そして神の怒りの杖が彼を撃ち、あなたの罪がその杖に包まれて神を叩き、彼の血と水が彼から噴き出しました。彼は言った、「父よ、あなたの手にわたしの霊を受け取って下さい」。そして、ペンテコステの日に、旅の途中で私たちと一緒に行くようになります。そして、それは今とても近いです。

98 あなたは…?…家から遠く離れて出て、「主よ、私は家に帰ります」と言いますか?私たちがこれを歌っている間、あなたが祭壇まで歩いて行ってください、あなたの魂もまたキリストに再聖別したいのなら…アーメン。

私は神から遠く離れてさまよった(道から外れた)
 今、私は家に帰ります。
 (不信仰は罪です)私が踏んだ長すぎる道、
 主よ、私は家に帰ります。
 家に帰る、家に帰る、
 これ以上ローミングすることはありません。
 あなたの愛の腕を大きく開いて、
 さて、主よ、私は家に帰ります。

[ブラナム兄弟は「主よ、私は家に帰ります」を口ずさみ続けますー編集]

99 3人の男の子がちょうど出て行って、本当に速く、目に涙を流し、祭壇のそばにひざまずきました。「もちろん、彼らは許されています。彼らの小さな心が決まったとき、彼らは席を離れる前にさえ許されていました。彼らはただ前に出てここにひざまずき、今朝彼らがどちらの側にいるのかを人々に知らせました。

なぜ年長の人達がこのように膝まづいて「主よ、私は道を彷徨いでてしまいました。私は大きな疑いさえ持っていました、そして時々私はさまよって罪を犯しました。手遅れになる前に、私は戻ってきたいです。神様、私一来たいです。本当に来てひざまずきたい」と言うことができるのです。アーメン。

100 さて、アーサー・ビームのほぼ同じサイズの3人の少女がここにやって来て、ひざまずいています。

小さな新しい兄弟ができたばかりの女の子が前に出てきています。先日言いました。ウッド夫人がやって来て私に言った、この姉妹は赤ちゃんを産むために病院に行くと言っていました。聖霊は、「行って、男の子になると彼らに言いなさい」と言いました。それが生まれたとき、それは小さな男の子でした。

今朝は子供たちのようで、アーノルド姉妹の小さなクラスから出てきた小さな仲間たちが彼らの命を献身聖別しています。私の右側の祭壇全体は小さな子供たちでいっぱいです。

101 私たちが歌って、残りを大人の人たちに祭壇を譲り渡せたらいいのにと思っています。

さて、主よ、私は家に帰ります。
 家に帰る…?…
 もはや歩き回ることはない。
 あなたの愛の腕を大きく開いて、
 さて、主よ、私は家に帰ります。

102 これらの小さな子供達のために、祈りのために少し頭を下げましょう。

天のお父様、もし明日が来るのなら、イエス様がさらに10年か15年もお待たせされるなら、これらの子供達が来るべき他の世代にこのメッセージを運んでいく男の子と女の子になるでしょう。主よ、私の心には疑いの余地はありません、しかし彼らの人生でずっと、彼らがこの祭壇に来たことを覚えているでしょう。そして、彼らは小さな宝石です、主よ。彼らの若くて優しい。彼らの小さな心は今朝罪に定められていました。すべてのメッセージを聞いているわけではありません。アーノルド姉妹の教えを聞いて、部屋から出てきて。この祭壇の周りを上って行き、彼らの小さな命をあなたに与えたのです。

さて、父よ、私は私たちの中に聖霊が宿っていることを話したところです。そして、この聖霊、この霊による信仰がすべてのことをします。そして、私はまさにこの時間に、あなたが彼らが犯したすべての罪を許すと信じています。そして、私は私の心にあるすべての信仰をもってあなたに、あなたが道を通して彼らの小さな命を守り続けるように求めています。彼らが道から決して外れないように。

103 これは本当に奇妙なことです。御霊は今朝、何か奇妙なことが起こると言いました。神よ、もしあなたが他の人との対処をやめられるならば、小さな子供を連れて行ってください。今朝の祭壇の呼びかけでは、大人は一人もいませんが、小さな子供たちのグループ全体が上がって来ました。それでも、それは大人にとってさえ難しい理解の素晴らしいメッセージでした、しかし子供たちはその霊を捕らえました。父よ、彼らに感謝します。私はそれらをあなたのしもべとして、この集会のトロフィーとしてあなたに捧げます。なぜなら、彼らが生きている限り、常に存在する生命の水が彼らと共に流れることを覚えるためにです。彼らが今起こっていることだけを信じ、彼らを席から引っ張り出してここに送り出した神が、彼らの生涯を通してその神を信じさせられますように。彼らの小さな霊が彼らの死の日にあなたにもたらされ、復活の日に彼らの体に戻されますように。彼らはあなたのものです、父よ。私たちはそれらをイエスの御名によってあなたに与えます。

104 私たちが頭を下げている間、私は祭壇にいるこれらすべての小さな子供たちに尋ねます。それはイエスがあなたの救い主であり、聴衆の中であなたにここに来てこの祭壇の周りにひざまずくように言った方であると信じています。イエスがあなたを愛し、あなたの罪を赦すと信じていますか？皆が立ち上がって、観客の方を振り返ってほしいのです。ただ…それが、イエスがあなたを救ったと信じていることを人々に伝える方法なのです。さて、立ち上がって、そうです、そして聴衆の方を振り返ってね。イエスを愛するすべての小さな男の子と女の子は、立ち上がってそこでの会衆を振り返って。

105 ここの前にいる小さな女の子達はどうですか？信じますか？あなたはイエスを愛していますか？ここに居る小さな女の子たち、あなたは心からイエスを愛していますか？あなたは？あなたは彼を愛していますか？あなたは彼を愛していますか、スウィートハート？ここに立ち、あなたがイエスを愛していることを人々に知らせてください。神の祝福がありますように。

さて、このように向きを変えて、これらの人々のために歌いましょう。「主イエスはわたしを愛してる、私はこれを知っている。聖書がそう告げているから。」分かりますか？さあ、手を挙げて歌いましょう。よし、歌いましょう。

主イエスは私を愛しています！私はこれを知っている、
聖書がそう告げているから、
小さな子供たちは彼に属している、
彼らは弱い…

今…？…子供たちは今、あなたの手を上げて、彼ら全員と一緒に歌っています。

はい、イエスは私を愛しています、
はい、イエスは私を愛しています、
はい、イエスは私を愛しています、
聖書がそう告げているから。

106 さて、皆さんは私の後に繰り返して下さい。私は信じています[祭壇の子供たちは「私は信じています」と言います—編集]イエス・キリスト[「イエス・キリスト」]は神の子です[「神の子です。】。今日[「今日」]私は彼を私の個人的な救い主として受け入れます[「私は彼を私の個人的な救い主として受け入れます。】。この日から、[「この日から」]今後、[「今後」]私は彼を愛し[「私は彼を愛し」]そして彼に仕えます。[「そして彼に仕えます。】アーメン。[「アーメン。】]

107 [会衆の兄弟は言います、「ブラナム兄弟、私は今私の心に4人の子供がいます。彼らのために祈っていただけませんか？」—編集]確かに、ベン兄弟。

天のお父様、この男は他の小さな子供たちがキリストに来るのを見て、父親として自分の小さな子供たちのために叫びます。そして、これらの小さな子供たちを祭壇に連れてきた御霊が、同じ御霊が彼の子供たちを救うことができますように、主よ。認めて下さい。父なる神様、イエス・キリストの御名によって彼らをお渡します。

108 さて、あなたの小さな子供達があなたの席に戻るとき、私はその列に沿ったみんながこれらの小さな子供たちと握手するか、彼らが戻ってくるときに彼らをなでて欲しいです。こちらの方向から席に戻って下さい。そして、そこにいるみんなに小さな子供達をなでてもらいましょう。そして、私たちは心からあなたを愛しています。あなたは私たちの他の人たちと同じように、キリストの身体のメンバーなのです。

私たちはシオンに向かって行進しています、
美しい、美しいシオン。
私たちはシオンに向かって上向きに行進しています、
その美しい神の都。
さあ、主を愛する私たち、
そして、私たちの喜びを知らせましょう、
優しく一緒に歌に参加してください、
優しく一緒に歌に参加してください、
そして、このように御座を囲み、
そして、このように囲みます…

それはとても良い歌です!さあ、手を挙げましょう。
私たちはシオンに向かって行進しています、
美しい、美しいシオン。
私たちはシオンに向かって上向きに行進しています、
その美しい神の都。

今歌っている間、お互いに握手しましょう。
私たちはシオンに向かって行進しています、
美しい、美しいシオン。
私たちはシオンに向かって上向きに行進しています、
その美しい神の都。

109 さて、祈りながら頭を下げてください。ステディ兄弟、ただ…[ブラナム兄弟がハミングを始めました、私たちはシオンに向かって行進します—編集]

ここにリクエストやハンカチなどがあります。彼らは海外から来るかもしれません。ビリーは私に彼らがイギリスで小さな赤ちゃんからのブーツの小さな一足を持っていると言っていました、その期間小さな子は皆足が不自由になりかかっていた。そして、だから私たちもそのために祈ることになりました。

110 そして…[会衆の中で、ベン兄弟は言います。「ブラナム兄弟、突っ込んでしまったことを許してください。でも、昨夜私の右フロントフェンダーに車をぶつけた人たちが、それが明らかになるように祈ってください。主がそれを明らかにするように祈ってください。」—編集]アーメン、ベン兄弟、きっとそうするでしょう。

[ブラナム兄弟はハミングを続けています、私たちはシオンに行進しています—編集]

111 主よ、私たちが行進するとき、打たれた岩が私たちのすぐそばにあることを知っています。岩から永遠の水の流れは教会とともにあります。永遠の神よ、今朝、私たちと共におられるこの神への信仰を緩めてください。私たちがあなたに好意を見出すことができるのと同じように、あなたがそれで私たちに信頼できることをあなたがすることを私は知っています。主よ、あなたがそれを十分に私たちに与えるならば、私たちはそれを悪用するかもしれません。しかし、私たちがあなたに恵みを見つけたら、それを起こさせてください。

私たちの兄弟は誰かが彼の車にぶつかったと言いました。神よ、私たちはその人がこれらのことをするお金を持っていないことを知っています。私はあなたが仲間にも有罪判決を下すか何かをもたらすことを祈ります、彼はこれをするのを悔い改めるかもしれません、「兄弟、私はあなたの車を修理します。私はそれを行いました」と言います。ベン兄弟と彼の愛する人を助けてください。

112 ここに私の手に置かれているのはハンカチとリクエストであり、その神への信仰を得ました。モーセはその神を信じ、海を渡りました。ダニエルはその神を信じ、獅子の巣穴から連れ出されました。シャデラク、メン

ヤク、アベドネゴは彼を信じ、火を消しました。パウロは彼を信じていました、そしてある日、礼拝が本当に大変で、パウロが誰にでも行くことができなかつたとき、彼はただハンカチを取りました。彼は「神が私と共におられると信じています」と言いました。彼はハンカチとエプロンに手を置き、悪霊が人々から去り、病気と疾病が彼らから去りました。神様、私は同じ神を信じました。悪が去りますように。主よ、病気、疾病、苦痛を去らせてくださいますように。

113 あなたは川の向こうの火の柱で私に話しかけたのと同じ神であります。あなたは私と一緒に壁にあなたの写真をかけている方です。主よ、あなたは私たちと共におられます。あなたは永遠におられる、同じ火の柱。そして、私たちは御霊を楽しみながら、毎日岩からの水を楽しんでいます。そして、あなたはここにいらっしゃいます。主よ、私たちはあなたに確信をしています。私たちはあなたを信じています。私たちはあなたが油を注いで私たちを助けてくださる事を信じています。主よ、私たちの栄光のためではありません。彼が間違ったことをしたとき、私たちはモーセのようになります。主よ、私たちはあなたを助けるために何かしたいのです。それが私たちの心の意図です、私たちがそれを行うことができるなら、あなたを助けてください。父よ、あなたは私たちにしたいことを何でも見せてくださいます。

114 そして今、私は信仰の行動に基づいて、これらのハンカチが表す病気とこれらの要求を非難します。彼らは人々を去ります。主よ、あなたがそれをなさることを私は知っています。私はあなたがそれをするだろうと私の心の中で信じています。今朝、私たちの真っ只中のすべての病気を癒してください。

手を挙げた人々を救ってください、彼らは水のために岩に来たいと言いました。神よ、彼らが今日とても喉が渇いていて、彼らの周りにそのような塩辛い生活があり、それが彼らにキリストへの渇きを引き起こしますように。それを認めて下さい。

父よ、今夜私たちと共にいらっしゃるのです。神よ、これらの要求を通して、人々の心に何があるのかを調べさせてください。もし彼らの心に何もなければ、主よ、あなたは今夜彼らの心に説教する何かを私に与えてくださいます。

115 私たちのネビル兄弟と彼の妻、彼の家族を祝福してください。私たちの小さな教会、私たちのトラステイ、私たちのディーコン、私たちのメンバー、そしてどこにでもいるあなたの体と。父よ、私たちと常に共にいてください。これをイエス・キリストの御名によってあなたの御手に委ねます。

シオン; 私たちはシオンに向かって上向きに行進しています、
美しい神の都。

さて、それをただ本当に、本当に彼に向かって歌いましょう。分かりますか？

さあ、主を愛する私たち、
そして、私たちの喜びを知らせましょう、
優しく一致して歌いましょう。
優しく一致して歌いましょう、
そして、このように御座を囲み、
そして、このように御座を囲みます。

さて、へりくだった心で。

私たちはシオンに向かって行進しています、
美しい、美しいシオン。
私たちはシオンに向かって上向きに行進しています、
美しい神の都。



伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランハム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7